

2020年2月5日

各位

会社名 アスクル株式会社  
代表者名 代表取締役社長 CEO 吉岡 晃  
(コード番号:2678 東証一部)  
問合せ先  
役職・氏名 執行役員 CFO 玉井 継尋  
TEL 03-4330-5130

## 臨時株主総会開催日および付議議案の決定に関するお知らせ

当社は、2020年1月15日付「臨時株主総会のための基準日設定に関するお知らせ」において、2020年1月31日を基準日と定め、臨時株主総会（以下「本臨時株主総会」）を開催する旨をお知らせいたしました。本日開催の取締役会において、本臨時株主総会開催日、場所および付議議案について、下記のとおり決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

### 1. 本臨時株主総会の開催日および場所

- (1) 開催日時 2020年3月13日（金曜日）午前10時  
(2) 開催場所 東京都江東区豊洲三丁目2番3号 豊洲キュービックガーデン1階  
豊洲キュービックホール

### 2. 本臨時株主総会の付議議案

取締役4名選任の件

### 3. 取締役候補者の略歴等

氏名 生年月日	略歴
いちげ ゆみこ 市毛 由美子 (1961年3月13日生)	1989年4月 弁護士登録
	1989年4月 日本アイ・ビー・エム(株)入社
	2007年12月 のぞみ総合法律事務所パートナー（現任）
	2012年6月 NEC ネットエスアイ(株)社外取締役
	2014年5月 イオンモール(株)社外監査役
	2014年12月 三洋貿易(株)社外取締役・監査等委員
	2016年12月 (株)スシローグローバルホールディングス社外取締役・監査等委員（現任）
	2018年6月 伊藤ハム米久ホールディングス(株)社外取締役（現任）
2019年11月 一般社団法人日本国際紛争解決センター理事（現任）	

<p style="text-align: center;">ごとう げんり 後藤 玄利 (1967年2月4日生)</p>	<p>1989年4月 アンダーセンコンサルティング(株) (現アクセンチュア(株)) 入社</p> <p>1994年5月 うすき製薬(株)取締役</p> <p>1994年11月 (株)ヘルシー・ネット (後のケンコーコム(株)、現楽天(株)) 設立 代表取締役</p> <p>1997年7月 うすき製薬(株) 代表取締役</p> <p>2006年4月 特定非営利活動法人日本オンラインドラッグ協会 理事長</p> <p>2009年2月 ケンコーロジコム(株)代表取締役</p> <p>2016年10月 ジャクール(株) (現 Kotozna(株)) 設立 代表取締役 (現任)</p> <p>2016年10月 一般社団法人 TagFIT (現 Kotozna(株)に事業譲渡) 設立 代表理事</p> <p>2017年3月 グロースポイント・エクイティ有限責任事業組合 ストラテジックアドバイザー (現任)</p> <p>2019年6月 語朋科技 (珠海) 有限公司設立 董事長 (現任)</p>
<p style="text-align: center;">たか いわお 高 巖 (1956年3月10日生)</p>	<p>1994年4月 麗澤大学国際経済学部専任講師</p> <p>2001年4月 同大学国際経済学部 (現:経済学部) 教授 (現任)</p> <p>2002年4月 同大学大学院国際経済研究科 (現:経済研究科) 教授 (現任)</p> <p>2008年4月 三井住友海上グループホールディングス(株)社外取締役</p> <p>2010年6月 日本ハム(株)社外取締役</p> <p>2016年6月 三菱地所(株)社外取締役、監査委員 (現任)</p> <p>2016年6月 鹿児島大学稲盛アカデミー 客員教授 (現任)</p> <p>2017年6月 (株)商工組合中央金庫社外取締役 (現任)</p> <p>2017年9月 内閣府消費者委員会委員長</p>
<p style="text-align: center;">つかはら かずお 塚原 一男 (1950年4月17日生)</p>	<p>1974年4月 石川島播磨重工業(株) (現(株)IHI) 入社</p> <p>2008年4月 同社取締役常務執行役員経営企画部長</p> <p>2009年4月 同社取締役経営企画、広報・IR、人事関連事項担当</p> <p>2012年4月 同社代表取締役副社長社長補佐 調達・内部監査・プロジェクト管理関連事項 人事関連事項担当</p> <p>2015年2月 (株)不二越社外取締役</p> <p>2017年3月 DIC(株)社外取締役 (現任)</p>

#### 4. 取締役候補者選任の理由

当社は、2019年8月2日開催の定時株主総会において、独立社外取締役3名の選任が否決されて以降、独立社外取締役が不在の状況となっており、改めて当社のガバナンス体制を構築および強化するため、社外取締役4名の選任をはかることといたしました。各候補者の選任の理由については以下のとおりです。

- (1) 市毛由美子氏は、企業内弁護士を経て、弁護士としてグループガバナンスを含むコーポレート・ガバナンス、コンプライアンス、知的財産等の分野における専門性の高い知見と実務経験を有しております。これまでに上場子会社を含む複数社の社外取締役・社外監査役、また弁護士会・弁護士連合会や公益法人の役員を務めており、こうした専門性の高い知見・実績や幅広い実務経験は、ガバナンスの強化、持続的な企業価値向上を目指す当社の社外取締役候補者として適任であると判断いたしました。

- (2) 後藤玄利氏は、医薬品のインターネット販売という革新的な事業を立ち上げ、代表取締役として長年事業経営に携わり、eコマース市場において同社の成長を牽引した経験・実績と、eコマース分野のみならずデジタルサービス分野における豊富な実務経験、高い知見と見識を有しております。当社の成長戦略の実現・企業価値向上のための有益な助言が得られることが期待され、また当社の業務執行に対する監督機能を適切に果たしていただく社外取締役候補者として適任であると判断いたしました。
- (3) 高巖氏は、大学および大学院において、企業倫理、企業の社会的責任、コンプライアンス、コーポレート・ガバナンス等の分野で長年研究を重ねられ、専門性の高い知見と研究実績を有しております。また、これまで複数社の社外取締役・社外監査役や、企業の第三者委員会委員、内閣府の消費者委員会委員長等幅広い活動経験をお持ちです。こうした専門性の高い知識・実績や経験は、ガバナンスの強化、持続的な企業価値向上を目指す当社の社外取締役候補者として適任であると判断いたしました。
- (4) 塚原一男氏は、グローバルに事業展開する重工業メーカーにおいて、海外駐在の経験を含め幅広い業務を担当された後、同社の代表取締役副社長を務められました。また、現在まで複数社の社外取締役にも就任され、企業経営に関する豊富な経験・実績と高い見識・倫理観を有しております。このような豊富なマネジメント経験と見識から、当社の業務執行全般に対する監督機能を適切に果たしていただく社外取締役候補者として適任であると判断いたしました。

以上